

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	<p>食事を楽しむ事の支援 食材はチルドを使用しており、職員が温めたものを利用者に盛り付けていただいている。「ニンジンが入っているからきれいだね」「美味しそうに盛り付けられたね」などの会話が聞こえる。食事前には全員で嚙下体操を行い、「頂きます」の号令は出さず、皆さんそれぞれ手を合わせて食事をされている。職員が利用者と同じ食事を頂くことはなく、食事介助や服薬のケアにあたっている。今のところ、完食をされる方が多い。食事の制限時間は設けておらず、マイペースで食事をされている。</p>	<p>利用者が、職員も同じく食事を楽しんでいると感じとって頂けるよう、食事の共有、同じ目の高さを意識し、食事の話、今日の出来事などを職員もテーブルに付き和やかに落ち着いて会話をかわそう。食事の共有は、10時、15時のおやつタイムにゆっくりとお茶を飲む事から、始めよう。食事の盛り付けだけでなく、調理に挑戦してみよう。</p>	<p>職員が利用者と席を共にすることはスペースの問題などから難しい為、気楽に飲めるお茶の時間から始める。利用者と職員が同じものを食べて「おいしいね」との会話が出ると、親密度が上がり、信頼関係も築かれていこう。 頼りにされているとの自負は大切にしたい。今まで通り一人でも多くの利用者に盛り付けや、後かたづけの手伝いをさせていただく。摘み食いをされる方には、工夫をし、様々な声掛けをし、お手伝いを楽しんでいただく。 利用者との関わりを多くするため調理時間を省くチルド食材だが、時にはその食材をやめ、利用者と共に食事メニューを考え、食事作りをする。調理は、包丁を使ったり、野菜の下ごしらえをする。おやつ作りでの利用者は生き生きしている。食事作りにも幅を広げていきたい。</p>	6ヶ月
		<p>買い物支援を行っており、それぞれの利用者がお好みの、おかずの友(梅干し、漬物、ふりかけなど)を購入され食事をされている。食事時にオルゴールのCDを流し、利用者は落ち着いて食事を摂られている。</p>			ヶ月
		<p>職員が交代で休憩に入る為、フロアは職員2人である。職員も利用者と共に食事を楽しんでどうかとの意見も出たが、前職で休憩時間も利用者とともにあり、きつかった、との意見が多数出た為、現在のスタイルになっている。</p>			ヶ月
		<p>食後は利用者に食器を拭いて頂くが、生き生きと食器拭きを手伝ってくださる。</p>			ヶ月
		<p>食事介助をしても会話は常に行っているのだが、第3者から見れば、利用者が食事を楽しんでいる姿には写らないのだろう。もう少し食事を楽しむ支援をしてはどうかとの指摘を受け、職員全員で討議をした。</p>			ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。